

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成21年12月17日 (2009.12.17)

【公開番号】特開2008-118334(P2008-118334A)

【公開日】平成20年5月22日 (2008.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2008-020

【出願番号】特願2006-298668(P2006-298668)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/26 (2006.01)

H 0 3 M 7/30 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/13 A

H 0 3 M 7/30 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月30日 (2009.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画素ブロック単位で符号化された符号化画像データの各画素ブロックにエラーが発生しているか否かを判定するエラー判定手段と、

前記エラー判定手段によってエラーが発生していないと判定された場合には、前記画素ブロックに基づいて復号化する復号化手段と、

前記エラー判定手段によってエラーが発生していると判定された場合には、前記符号化画像データを解析することにより、前記画素ブロックの表示位置を示す画素ブロック位置情報と、前記主画像表示領域と副画像表示領域との境界を示す領域境界情報とを生成する解析手段と、

前記画素ブロック位置情報及び前記領域境界情報を用いて前記画素ブロック中の主画像表示領域及び副画像表示領域を抽出し、前記画素ブロック中の主画像表示領域に対しては前記主画像表示領域に対して第 1 の処理を実行し、前記画素ブロック中の副画像表示領域に対しては第 1 の処理とは異なる第 2 の処理を実行する処理手段と

を備えることを特徴とする画像復号装置。

【請求項 2】

前記第 1 の処理は主画像コンシールメントであり、前記第 2 の処理は、インター予測による副画像コンシールメント処理であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像復号装置。

【請求項 3】

画素ブロック単位で符号化された符号化画像データの各画素ブロックにエラーが発生しているか否かを判定するエラー判定手段と、

前記エラー判定手段によってエラーが発生していないと判定された場合には、前記画素ブロックに基づいて復号化する復号化手段と、

前記エラー判定手段によってエラーが発生していると判定された場合には、前記符号化画像データを解析することにより、前記画素ブロックの表示位置を示す画素ブロック位置情報と、前記主画像表示領域と副画像表示領域との境界を示す領域境界情報とを生成する解析手段と、

前記画素ブロック位置情報及び前記領域境界情報を用いて、前記画素ブロック内に、前記主画像表示領域が含まれているか否かを判定し、前記主画像表示領域が含まれていると判定された場合には、前記主画像表示領域に対して第 1 の処理を実行して出力する第 1 の処理手段と、

前記画素ブロック位置情報及び前記領域境界情報を用いて、前記第 1 の処理手段から出力される前記画素ブロック内に、前記副画像表示領域が含まれているか否かを判定し、前記副画像表示領域が含まれていると判定された場合には、前記副画像表示領域に対して第 1 の処理とは異なる第 2 の処理を実行する第 2 の処理手段と

を備えることを特徴とする画像復号装置。

【請求項 4】

画素ブロック単位で符号化された符号化画像データの各画素ブロックにエラーが発生しているか否かを判定するエラー判定手段と、

前記エラー判定手段によってエラーが発生していないと判定された場合には、前記画素ブロックに基づいて復号化する復号化手段と、

前記エラー判定手段によってエラーが発生していると判定された場合には、前記符号化画像データを解析することにより、前記画素ブロックの表示位置を示す画素ブロック位置情報と、前記主画像表示領域と副画像表示領域との境界を示す領域境界情報とを生成する解析手段と、

前記画素ブロック位置情報及び前記領域境界情報を用いて、前記画素ブロック内に、前記主画像表示領域が含まれているか否かを判定し、前記主画像表示領域が含まれていると判定された場合には、前記主画像表示領域に対して第 1 の処理を実行して出力する第 1 の処理手段と、

前記画素ブロック位置情報及び前記領域境界情報を用いて、前記画素ブロック内に、前記副画像表示領域が含まれているか否かを判定し、前記副画像表示領域が含まれていると判定された場合には、前記副画像表示領域に対して第 1 の処理とは異なる第 2 の処理を実行して出力する第 2 の処理手段と、

前記第 1 の処理手段から出力される前記画素ブロックの前記主画像表示領域と、前記第 2 の処理手段から出力される前記画素ブロックの前記副画像表示領域とを合成する合成手段と

を備えることを特徴とする画像復号装置。

【請求項 5】

前記主画像表示領域は、表示画面の中央部分に位置する視聴対象の映像を表示する映像ソース領域であり、前記副画像表示領域は、前記主画像表示領域の周辺に位置する静止画像を表示するレターボックス領域であることを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の画像復号装置。

【請求項 6】

前記第 1 の処理は主画像コンシールメントであり、前記第 2 の処理は、副画像コンシールメント処理であることを特徴とする請求項 3 ないし 請求項 5 のいずれか 1 項に記載の画像復号装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の一態様による画像復号装置は、画素ブロック単位で符号化された符号化画像データの各画素ブロックにエラーが発生しているか否かを判定するエラー判定手段と、前記エラー判定手段によってエラーが発生していないと判定された場合には、前記画素ブロックに基づいて復号化する復号化手段と、前記エラー判定手段によってエラーが発生していると判定された場合には、前記符号化画像データを解析することにより、前記画素ブロッ

クの表示位置を示す画素ブロック位置情報と、前記主画像表示領域と副画像表示領域との境界を示す領域境界情報とを生成する解析手段と、前記画素ブロック位置情報及び前記領域境界情報を用いて前記画素ブロック中の主画像表示領域及び副画像表示領域を抽出し、前記画素ブロック中の主画像表示領域に対しては前記主画像表示領域に対して第 1 の処理を実行し、前記画素ブロック中の副画像表示領域に対しては第 1 の処理とは異なる第 2 の処理を実行する処理手段とを備える。